

教科	公民	科目	政治・経済	担当	
履修学年	3年	単位数	3単位	履修区分	普通科文系
教科書	最新政治・経済（実教出版）				
副教材等	最新政治・経済演習ノート（実教出版） 2023新政治・経済資料三訂版（実教出版） 政治・経済用語集（山川出版社）				

1 学習目標

広い視野に立ち、民主主義の本質に関する理解を深めさせる。また、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力と、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 学習評価

評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
a 関心・意欲・態度	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、現代社会が抱える諸問題を意欲的に探求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加・協力する態度を身に付け、人間としての在り方・生き方についての自覚を深めようとする。
b 思考・判断・表現	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在・価値などについて、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現することができる。
c 資料活用技能	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料に積極的に触れ、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができる。
d 知識・理解	現代の社会的事象と人間としての在り方・生き方にかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けることができている。

3 全体計画

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点					単元の評価規準	評価方法
					a	b	c	d	e		
前期	4 5 6	第1編 現代の政治	第1章 現代国家と民主政治	民主政治の成立	○	○				a 政治や法が私たちの生活にどのようにかかわるのかについて関心をもつことができる。 b 政治や法に関する基本的な見方や考え方について考察できる。 c 各国の政治体制について諸資料を利用して調査することができる。 d 各国の政治体制の違いを理解し、まとめることができる。 a 日本国憲法をめぐる論点について関心を高めることができる。 b 大日本帝国憲法と日本国憲法の違いを考察できる。 c 資料集や新聞記事を利用し、憲法や人権に関する問題に触れられる。 d 日本国憲法の成立過程を把握し、日本国憲法の三大原理について理解することができる。	定期考査 授業参加態度 提出物など
				民主政治の基本理念	○	○	○				
				民主政治のしくみと課題	○	○		○			
				世界のおもな政治体制				○	○		
			第2章 日本国憲法	○	○		○				
			自由権・平等権	○	○	○	○				
	6 5 9	第3章 日本の政治制度と政治参加	第3章 日本の政治制度と政治参加	社会権・参政権	○	○	○				
				新しい人権	○	○					
			第4章 現代の国際政治	国会・内閣・裁判所	○	○		○			
				地方自治と住民福祉		○	○				
				政党政治と選挙制度	○	○		○			
				世論と政治参加				○			
5 9	第5章 日本の平和主義と国際平和	第4章 現代の国際政治	国際社会と国際法	○	○		○				
			国際連合と国際協力	○	○		○				
		冷戦期の国際政治			○	○					
		冷戦後の国際政治	○	○	○						
9	第5章 日本の平和主義と国際平和	第5章 日本の平和主義と国際平和	平和主義と自衛隊	○			○				
			日米安全保障体制の変化		○	○					
		21世紀の平和主義		○	○	○					
		日本の外交と国際社会での役割	○	○		○					
前期末考査											

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点					単元の評価規準	評価方法
					a	b	c	d	e		
後 期	9	第2編 現代の経済	第1章	資本主義経済の成立と発展	○	○		○		a 経済や経済史について、興味をもって授業に取り組むことができる。 b 現代の資本主義経済が抱える問題について、客観的な立場に立ち望ましい解決のあり方を考察できる。 c 経済上の諸課題について探究し、さまざまなメディアや資料活用などによって調査することができる。 d 現代経済が抱える諸課題を理解し、言語活動によって自分の意見を表現することができる。	定期考査 授業参加態度 提出物など
				経済社会の変容	現代の資本主義経済	○	○	○	○		
			第2章	経済主体・市場	○		○	○			
				現代経済のしくみ	企業の役割・国民所得	○		○			
				経済成長と国民の福祉	○	○		○			
	金融・日銀・財政と租税	○	○	○							
	第3章	戦後復興・高度経済成長	○			○					
		現代の日本経済と福祉の向上	バブル経済・平成不況	○		○	○				
			中小企業・農業・消費者問題	○	○	○	○				
	労働問題・社会保障	○	○		○						
	第4章	国際収支・外国為替	○		○						
現代の国際経済		第二次世界大戦後の国際経済	○	○							
		国際経済の動向	○	○	○	○					
発展途上国の諸問題	○	○		○							
11	第3編 現代社会の諸課題		地域社会の発展と住民生活	○	○	○	○		a 現代社会の抱える課題の現状を把握し、興味をもって課題研究に取り組むことができる。 b 現代社会の諸課題について、多面的に考察し、望ましい解決のあり方を考察できる。 c 住民生活や農業・食料に関する資料を活用し、問題点をまとめることができる。 d 社会状況の変化と発生しうる問題について理解することができる。		
			農業と食料問題	○	○	○	○				
後期中間考査											
共通テスト対策											

4 考査の観点別配点

	前期中間	前期末	後期中間	
a	25	25	25	
b	25	25	25	
c	25	25	25	
d	25	25	25	
計	100	100	100	

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

①授業第一に、ノートの作成を確実にこなすこと。 ②演習ノートを用い、基礎知識の定着に努めること。 ③授業を欠席しないこと。
